

販売店・工事店さま用

形名  
(Lタイプ)  
DVF-G10CLDA3, G10CLDA3B, G10CLDK3  
DVF-G14CLDA3, G14CLDK3, G14CLQD3  
(Bタイプ)  
DVF-G10CBD3, G10CBDA3

この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けいただくためにこの取付説明書をよくお読みください。（形名により図が一部異なります。）  
この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。  
別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください。）

安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
	<b>警告</b> 誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	<b>注意</b> 誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財およびペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

表 示	図記号の意味
	<b>改造禁止</b> ○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
	<b>アースを接続する</b> ●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

	<b>改造はしないこと</b> 火災・感電・けがの恐れがあります。
	<b>修理技術者以外の人は分解、修理（ ）をしないこと</b> 火災・感電・けがの恐れがあります。 修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
	<b>アースは確実に取り付けること</b> 故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
	<b>金属製ダクトが、メタルラス張りなどの金属造営材を貫通するときは、金属造営材に接触しないこと</b> 漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。
	<b>内釜式風呂を設置した住宅には取り付けないこと</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
	<b>自然排気型ストーブがある部屋に据え付けるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつけること</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
	<b>電源は交流100Vを使うこと</b> 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。

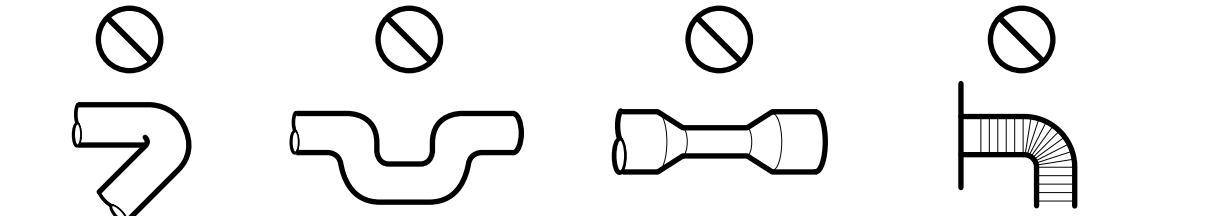
注意

	<b>浴室には壁スイッチを取り付けないこと</b> 火災・感電の恐れがあります。
	<b>炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けないこと</b> 火災の恐れがあります。
	<b>強度のある場所に確実に取り付けること</b> 落下により、けがをする恐れがあります。
	<b>本体カバーや部品は確実に取り付けること</b> 落下により、けがをする恐れがあります。
	<b>電気工事・アース工事は電気工事士（ ）が行うこと</b> 電気工事士以外の方が工事をする、火災・感電・けがの恐れがあります。 電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

取付上のお願ひ

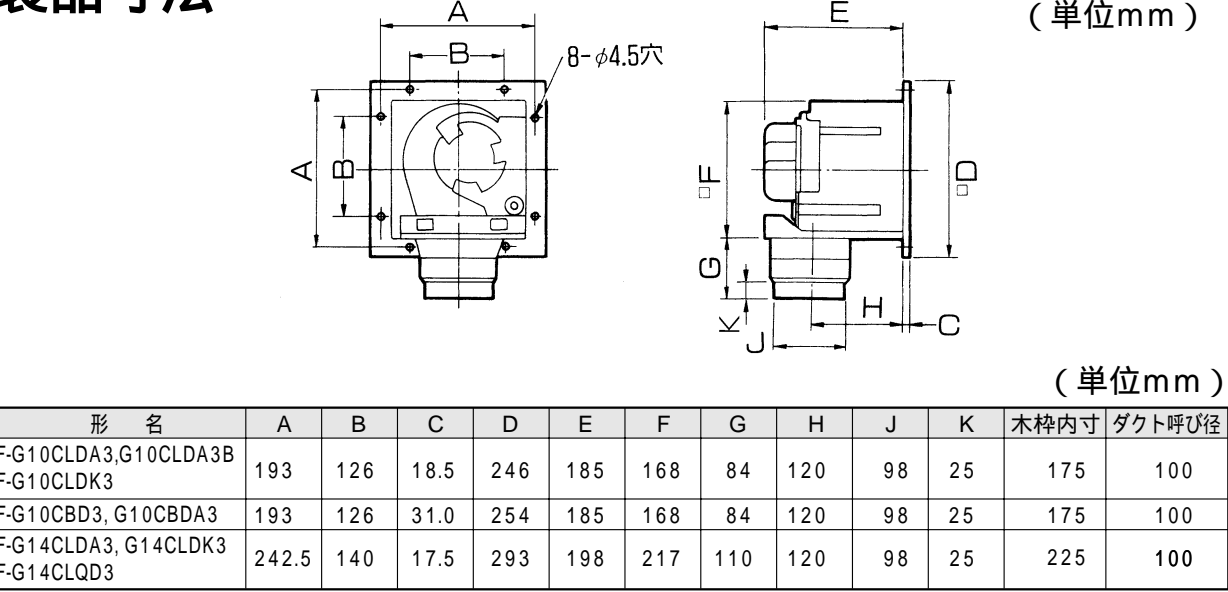
次のような場所には取り付けないでください。  
1．高温（40℃以上）になる場所  
ガスレンジの真上  
ガス湯沸器の真上（横方向へ50cm以上離してください。）  
換気機能のない浴室  
乾燥機を使用する浴室  
2．台所など油煙の多い場所  
3．腐蝕性ガスの発生する場所  
点検口を必ず設けてください。  
次のようなダクト工事はしないでください。

(1) 極端な曲げ    (2) 多数回の曲げ    (3) 接続ダクト径を極端に小さくする    (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



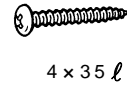
ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。  
シャッターが開かなくなる恐れがあります。  
地域によっては、樹脂製換気扇およびシャバラが使えることがあります。  
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）  
共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2mの鋼板立上りダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。  
効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。  
常時換気用として使用するとき、  
常時換気を有効に行うために、居室に専用吸込口やドアのアンダーカットなどを設置し、空気の流通経路を確保してください。

製品寸法



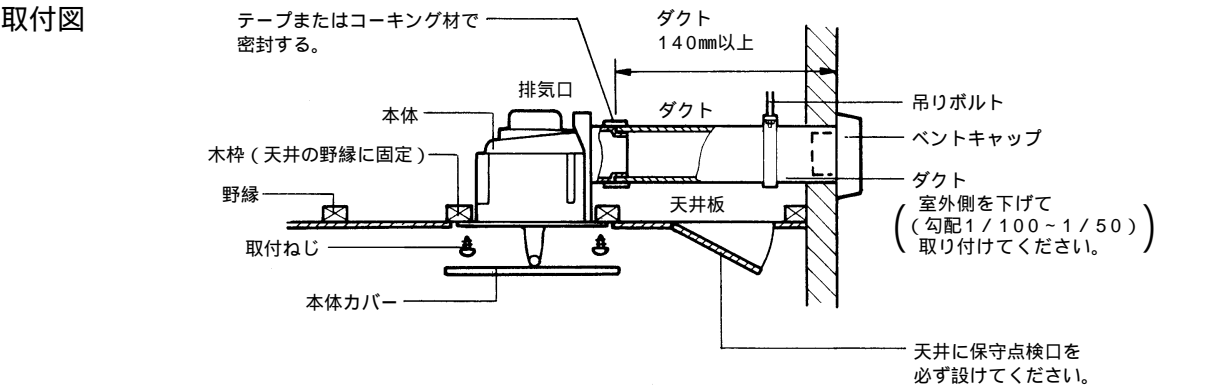
付属品の確認をしてください。

取付ねじ6本  
(本体固定用・排気口固定用)



取付方法

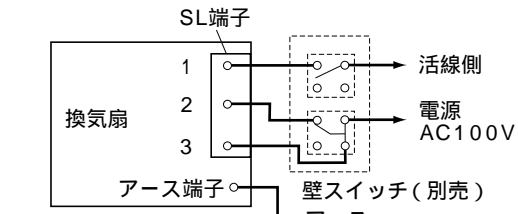
取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。



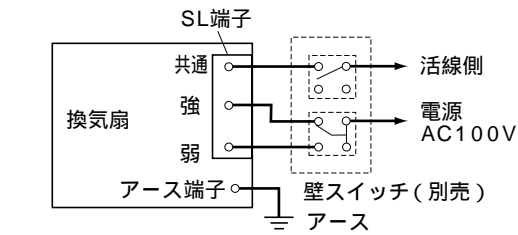
配線図    太線部を結線する

建築基準法対応機械換気設備として設置される場合の壁スイッチは、「換気システム用壁スイッチ」を使用するなど建築基準法に従って施工してください。

DVF-G10CLDA3, G10CLDA3B, G10CLDK3, G10CBD3, G10CBDA3



DVF-G14CLDA3, G14CLDK3, G14CLQD3



A. 木枠に取り付けるとき

**A-1** 木枠内寸に合わせて木枠をつくり野縁に固定します。

野縁  
木枠  
補強材

お願い  
製品の質量に十分耐えるよう木枠を補強材等で野縁に固定します。

タイプ	製品質量(kg)	木枠内寸(mm)
DVF-10	1.5	175
DVF-14	2.3	225

**A-2** 排気口を固定します。  
排気口が木枠に対して傾き・すき間がないように、内側の穴に付属の取付ねじ2本で固定します。

排気口  
傾き  
取付ねじ  
すき間

**A-3** 本体を木枠に固定します。  
本体を挿入し、排気口の上部穴に本体の凸部をはめ込みます。

取付ねじ4本で本体を木枠に固定します。本体は木枠に密着させて固定してください。風もれの原因となります。

お願い  
本体を木枠の上に固定しないでください。

上部穴  
凸部  
排気口  
本体  
木枠

**A-4** 電源コードとアース線を接続します。

DVF-G10CLDA3, G10CLDA3B, G10CLDK3  
DVF-G10CBD3, G10CBDA3  
電源コードを加工します。

電源コード・アース線を接続します。  
(1) 電源コードを電源ボックス内のSL端子に芯線が止まるまで確実に差し込みます。  
(2) アース線を、アース端子にカシメて接続します。

14mm  
30mm  
5mm  
80mm  
電源コード  
アース線

DVF-G14CLDA3, G14CLDK3, G14CLQD3  
本体上部のプッシングから電源コード(VVF 1.6、2)、アース線を差し込みます。  
VVFは3芯を使用してください。

電源コードおよびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。

アース線  
電源コード  
アース端子  
アース線  
プッシング  
カバー  
ねじ  
アース端子

DVF-G14CLDA3, G14CLDK3, G14CLQD3

本体上部のプッシングから電源コード(VVF 1.6、2)、アース線を差し込みます。  
VVFは3芯を使用してください。

カバーのねじをはずし、カバーをあげます。

B. 吊下金具を使用するとき

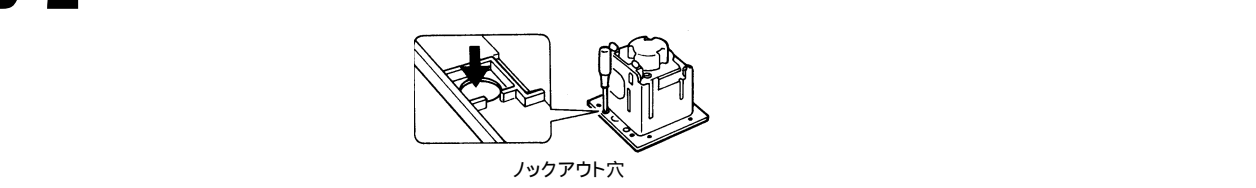
**B-1** 右図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。

(単位mm)

タイプ	A	B
DVF-10	204	146
DVF-14	243	146

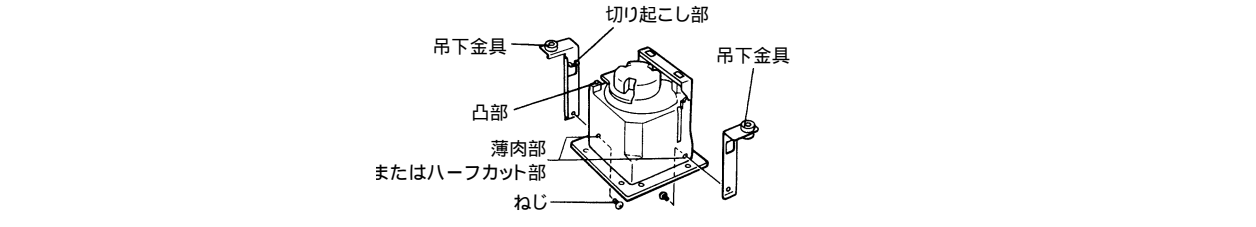
22  
16  
A  
B

**B-2** 本体枠の排気口側のロックアウト穴を打ち抜きます。



**B-3** 吊下金具DV-2T（別売部品）を本体に取り付けます。

本体の薄肉部を打ち抜きます。（2カ所）  
吊下金具の切起し部を本体の凸部に引っ掛けます。  
本体内側よりねじ（2本）で確実に固定します。



**B-4** 本体をアンカーボルトに取り付けます。

アンカーボルト  
吊下金具

お願い  
本体が水平になるように取り付けてください。

**A-4** (つづき)

DVF-G14CLDA3, G14CLDK3, G14CLQD3 (つづき)

SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。（電源被ふくは14mmむいてください。）  
カバーを開いてねじを締め付けます。  
アース端子にアース線を取り付けます。  
電源コードおよびアース線は本体部付近で70cm以上たるませてください。

表示のラベルに合わせて電源コードの共通・強・弱を結線してください。  
結線を間違えて運転すると内蔵の誤結線保護ヒューズが切れます。ヒューズが切れたときは正しく配線した後、ヒューズを交換してください。（ヒューズサービスコード No.41178099）

アース端子  
アース線  
電源コード  
本体  
電源コード（70cm以上たるませてください。）

お願い  
スイッチ（入切）は必ず活線側に取り付けてください。

**A-5** 排気口にダクトをはめ込み  
テープまたはコーキング材で密封します。

テープまたはコーキング材  
ダクト  
吊りボルト  
排気口

お願い  
ダクトは室外側を下げて（勾配1/100～1/50）吊りボルトなどで保持してください。

**A-6** 天井板を貼り付けます。

お願い  
本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので天井板と本体のフランジとのスキマが2～3mmになるようにしてください。  
本体カバーがBタイプるとき、天井板は厚さ11mm以下のものをご使用ください。それ以上ですと風量が低下し換気が悪くなります。

本体  
木枠  
天井板  
スキマ  
スキマ2～3mm

**A-7** 本体カバーを取り付けます。

本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。

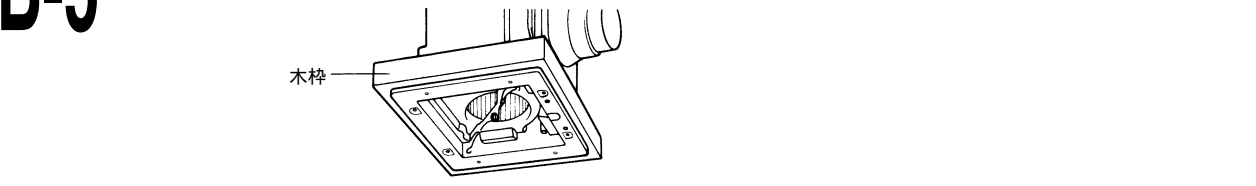
スプリングに引掛金具引っ掛けます。

本体カバーをそのままゆっくりとおし上げます。

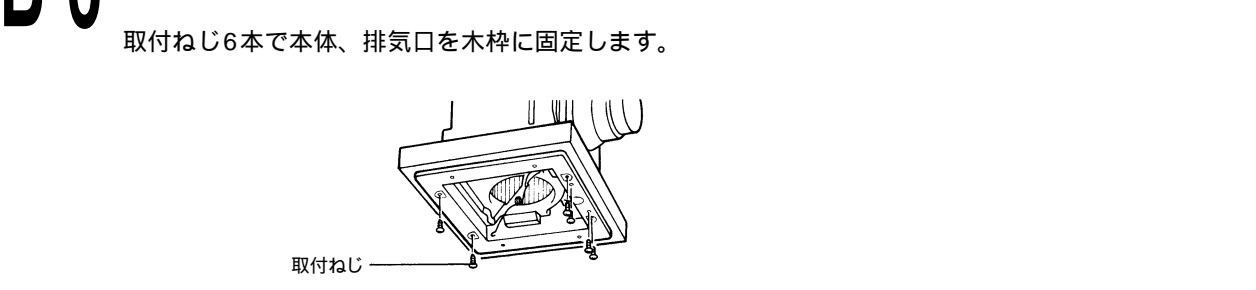
(Lタイプ)  
本体カバーを天井の模様にあわせて90度回転させた方向に取り付けることができます。  
(Bタイプ)  
本体カバーの脚が本体枠の凹部にはまっていることを確認してください。

スプリング  
本体  
スプリング  
本体カバー  
引掛金具  
凹部  
脚  
(Lタイプ) (Bタイプ)

**B-5** 本体取り付けに合わせて木枠を組み付けます。



**B-6** 本体および排気口を木枠に固定します。



**B-7** 以後の取り付けはA・4・5・6・7を参照してください。

以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。

製品の取付強度が十分なこと。  
運転したとき異常音、異常振動がないこと。  
本体カバーが確実に取り付けられていること。